

わけもん きばっちょっど

未来に届け 第8回

※今回は、長年ラグビー界に貢献されてきた黒岩正春先生退任の際の写真等を交え、敬意を表し掲載させていただきました。



黒岩正春氏 児湯ラグビー協会会長・高鍋ラグビースクール校長退任にあたり

昭和30年4月に高鍋高校に奉職を命ぜられ、その喜びと責任を感じながら教師として、母校ラグビー部の第4代監督として就任。昭和38年に古江先生の後を引き継ぎ、第6代監督として再任、昭和41年9月に県大会を4年目で初めて制覇された。しかしここからが苦難苦渋のラグビー人生の始まりであった。

高鍋高校ラグビー部を全国大会に7回出場させ、ベスト4を1回、ベスト8を2回と素晴らしい成績を刻まれた武将『鬼の黒岩』だった。『なにくそ』の精神を伝授し、1,000人近いOBを育てたのは彼しかいない。

そして、高鍋ラグビースクールでは、平成6年4月から25年間にわたり校長として君臨され、半分以上は教え子である指導者に叱咤激励を飛ばされ、県内大会優勝をはじめ、九州大会の優勝まで勝ち取れるラグビースクールに育て上げられました。

今後は、先生の意志を受け継ぎ高鍋、児湯、宮崎のためラグビーに命をかけて、日々精進させていただきます。
投稿者 石田 喜克

編集後記

朝晩、めっきり涼しくなってきました。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋、皆さんはこの秋を堪能されていますか。

平成30年12月から早4回の議会を経験し、4回の一般質問の機会を頂きました。

これも町民の方々や先輩議員、事務局職員の皆さんに支えられたの事であります。

一年生議員として、議会だよりの広報委員会に属し、「議会内容を詳しく伝える」をテーマに委員全員が、知恵をだしながら最高の議会だよりを目標におき、頑張っております。

行政調査、新人議員研修会、中央における要望活動を経験させて頂きました。このような活動状況も広くお伝えできる様な広報誌にしたいと思っております。

(日高正則・記)

(表紙写真)

▼高鍋西小学校6年生による
秋季入運動会での勇壮な表現
「魂のソーン2019」